

安全に
使うための

かつ こん とう

葛根湯の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に葛根湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- ☐ 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- ☐ 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- ☐ 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

- ☐ 以前に麻黄を含む漢方薬**を服用して、気持ちが悪くなったり、動悸がしたり、尿が出にくくなったりしたことがありますか？
- ☐ 以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

次のような症状がありますか？

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かぜ | <input type="checkbox"/> 肩こり |
| <input type="checkbox"/> 鼻づまり | <input type="checkbox"/> 筋肉痛 |
| <input type="checkbox"/> 頭痛 | <input type="checkbox"/> 手や肩の痛み |
| <input type="checkbox"/> 発熱 | |

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません*

- ☐ 心臓に不具合はありますか？
- ☐ 血圧はひどく高いですか？
- ☐ (男性の方) 尿の出に不具合がありますか？
- ☐ 胃腸が弱いですか？
- ☐ 現在、たくさん汗をかいていますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」



服用できます

* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

** 該当する商品がわからない場合は、薬剤師または登録販売者にお尋ねください

効能・効果

体力中等度以上のものの次の諸症：感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

ウチダの解表舒筋	ウチダ和漢薬	阪本漢法の葛根湯エキス顆粒	阪本漢法製薬
カコナール	第一三共ヘルスケア	サトウ葛根湯エキス顆粒	佐藤製薬
カゼコール内服液	大草薬品	三宝葛根湯エキス顆粒	三宝製薬
カッコンV「コタロー」	小太郎漢方製薬	J P S 葛根湯エキス錠N	ジェーピーエス製薬
葛根湯Aエキス細粒「分包」三和生薬	三和生薬	錠剤 葛根湯	イスクラ産業
葛根湯（エキス顆粒）	建林松鶴堂	錠剤 葛根湯	一元製薬
葛根湯エキス顆粒 S クラシエ	クラシエ薬品	ツムラ漢方葛根湯エキス顆粒	ツムラ
葛根湯エキス顆粒〔大峰〕	大峰堂薬品工業	トチモトのカッコン湯	栃本天海堂
葛根湯エキス顆粒KM	カーヤ	ハイ・カッコー	大杉製薬
葛根湯エキス顆粒「至聖」	三九製薬	ピュアドリップ葛根湯	湧永製薬
葛根湯エキス顆粒（東洋）分包	東洋薬行	風治散	和漢薬研究所
葛根湯エキス〔細粒〕7	松浦薬業	ホノミキシュ錠	劑盛堂薬品
葛根湯「タキザワ」	タキザワ漢方廠	本草葛根湯エキス顆粒-H	本草製薬
紀伊国屋カッコン湯	紀伊国屋漢薬局	山本漢方「葛根湯エキス顆粒」	山本漢方製薬
生隆「分包」	太虎精堂製薬		

使用上の注意

してはいけないこと

次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

処方構成生薬

葛根、麻黄、大棗、桂皮、芍薬、甘草、生姜

葛根湯の体力分類に対する適応度（服用される方の普通の体力でお考えください）

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	0	2	2	1

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない